

No.14

京林大だより



絵:卒業生 熊走君

～新・カリキュラム始動～

本校では今年度から、学生の職業意識の向上を目的として、林業事業体での短期間の就業体験（インターンシップ）をカリキュラムに組み込むこととしました。

平成26年5月26日から30日にかけての5日間、府内8ヶ所の林業事業体の協力を得て、2年生24人がインターンシップへ行きました。体験させていただいた業務は、測量などの森林調査、間伐や支障木の伐採作業、庭木の消毒、杭づくりなど様々で、「チェーンソーを使うだけが林業の仕事ではないと強く感じた」との感想をもった学生もいました。

林大の実習とは異なり、仕事として作業に取り組み、「林業は疲れた分だけやりがいのある仕事だと改めて感じた」、「体力づくりを頑張りたい」、「もっと勉強を頑



張る」など、これからの自分の進路、進路実現の課題について考える良いきっかけとなったようです。

また、森林組合へ今年就職したての卒業生数名が、インターンシップの指導員を努めてくれました。指導をする側、指導を受ける側の双方にとって、良い刺激になったのではないのでしょうか。

8月下旬には1年生がインターンシップへ行きます。2年生に比べると、まだまだ若葉マークの林業マンではありますが、このインターンシップでの成長に期待したいです。

《インターンシップにご協力いただいた事業体のみなさま》

京丹波町：京丹波森林組合

南丹市：園部町森林組合、日吉町森林組合、中坂木材株式会社

京都市：京都市森林組合、一般社団法人京都森林整備隊

綾部市：綾部市森林組合

舞鶴市：舞鶴市森林組合

大変ありがとうございました。



★かがやく★1期生★ 今、どうしているの？

卒業生の追跡！第2弾は京都府を飛び出して、地元広島県へ就職した林君のところに伺いました。シャープになって、顔つきも仕事人の顔になっています。



★ 林 瑛輝 （平成25年度卒業）

林大を卒業し現在の職場に就職してから約4カ月がたちました。職場は、広島県の東部、神石郡神石高原町にある^{じんせき}神石郡森林組合です。3月の中ごろから仕事をはじめ、新規植栽や、下刈作業を主に行っています。入社したばかりのときは、一日チェーンソーを使えば夕方には腕が上がりなくなるほど疲れていました。今でも日々の仕事を行うに当たって、同僚の先輩方について行くので精一杯です。まだまだ半人前どころか3分の一人前程ではありますが、一日も早く一人前になれるよう頑張っていきたいと思います。

林大で学んだことは今思えば何一つ無駄なものはありません。もっと真剣に聞いとけばよかったと後悔することもしばしばです。それ以上に林大でできた同級生の仲間、先生方との出会いは何にも変えがたい宝物となっています。在校生のみなさんも林大での出会いを大切に、日々の勉強を頑張ってください。



m(_ _)m「森公日記」はじめましたΣ(°Д°)

森林公共人材専攻では、森林公共政策士と地域公共政策士の取得に向けて頑張っています。

現在は府立大学での授業と、志方教授による森林公共政策特講1を行っています。特講の中で、情報を聞き出す技法としてインタビューの練習をしました。その成果として「森公日記(たより)」を作成しました。

過日、只木校長にインタビューを行い、経歴や、幼いころの思い出、林大のこれからについてなど、森林・林業に対する熱い思いを語っていただきました。これらまとめたものを森公日記として、林大ホームページに掲載しています。

(写真：只木校長にインタビュー実践)

この後も随時更新していきますのでご期待ください。

(地域公共コース：中田昂希)



2014/5/29 参加



京林大

TO：みなさま

SUB：facebook はじめました。

京林大のfacebookを始めました。

登録していなくても見ることができますので、ぜひ一度、ご覧ください。よろしければ「いいね」もクリックしてくださいネ！

<https://www.facebook.com/#!/kyotorindai>



校長室より

『針葉樹・広葉樹』

校長 只木良也

針葉樹、その葉は針のよう。広葉樹、その葉は平面的な広がりをもつ。

で、針葉樹といえば典型的なものとして正に葉が針型のマツの類がまず思い浮かびます。次いで、クリスマスツリーでお馴染みのモミヤトウヒ、小さな葉で先が針のように尖ったもの多くて葉を握ると痛い。そしてスギ。さらにヒノキやアスナロでは、もはや針とは言いがたく、握っても痛くないのですが、普通針葉樹と呼び慣わされて抵抗はありません。ところで、イチヨウの葉、これは誰が見ても平べったい葉で広葉樹……。いえいえこれは、実は分類上は、広葉樹というよりは針葉樹の親類なのでした。

裸子植物、被子植物という用語をご存知でしょうか。簡単に言えば種子が果実に包まれているものが被子植物、進化して現在もっとも栄えている植物、樹木ではナラ、カエデ、カシ、・・・、一般の広葉樹はこれです。針葉樹は、進化過程から言えば、その前段階の裸子植物なのですが、裸子植物の中も、古いものから言えば、ソテツ、イチヨウ、マツやスギの針葉樹の順で、イチヨウは何と針葉樹類の先輩、したがって、広い葉だからと、いわゆる広葉樹と同類というものではない、という次第。針葉樹・広葉樹と分ける時に、イチヨウは裸子植物だから針葉樹に入れることすらあります。同様の例に、円形の葉のナギ(マキの仲間)もあります。ところで、「鴨脚」と書いて何と読む？ イチヨウと読む。イチヨウの葉、水掻きの付いたカモの脚に似ていませんか。実はこれ京都下鴨神社の湧き水の庭で有名な社家の、ご名字なのでした。